

(様式第6号 別紙)

長崎県福祉サービス第三評価結果報告

① 第三者評価機関名

有限会社 医療福祉評価センター

② 事業者情報

名称：わーくいさはや	種別：就労継続支援B型
代表者氏名：田島光浩	定員（利用人数）：26名
所在地：諫早市福田町 357-15	TEL：0957-35-7555

*施設・事業所情報は、事業所プロフィール参照

③施設・事業所の特徴的な取組

・法人として平成30年度に「生きる誇りへの、挑戦。」を新たな理念として掲げ、障がいのある方でも地域の中で健常者同様に、普通の生活を営み、幸せを感じできるようなサービスの提供に努めている。

・就労継続支援B型のわーくいさはやは、法人の拠点化の一環として、平成30年6月から現在の所在地にて事業運営している。今まで同市の他の住所地で営んでいたが、拠点化することで、生活介護事業や児童発達支援等と共に同一敷地内で運営をしている。この効果の1つに人的交流の活性化をはじめ、様々な点で効率化を図ることができている。

・利用者一人ひとりの特性に応じた働き方を支援しており、毎月1回の工賃支給に加えて、年3回の賞与支給も行っている。平均工賃支給額も計画通り増額することができており、今後も計画的に支給額を増やすことができるよう工夫を重ねていく方針である。

・利用者は施設外就労先で、職業指導員の指導の下、特性に応じて段階的に作業を行っている。利用者によっては徐々に工賃が上がっていくことで、法人理念の通り、生きる誇りを感じることができる。また、伴って利用者の生活の質の向上を図るために、就労継続支援B型のあるべき理想的な運営を行っている。

④第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和元年 7月1日（契約日）～ 令和2年 3月 11日（評価結果確定日）
受審回数	今回が初めて

⑤総評

◇特に評価の高い点

【職員参画の上で策定される事業計画・利用者に分かりやすく説明している事業計画】
法人や事業所の中長期計画に基づいて策定されている単年度計画が、毎年決まったルールに則って策定されている。また、短年度計画の重点項目については、分かりやすい表現で、かつ、ルビの入った説明書を利用者や家族に配布して、法人として、また、事業所としての方向性を示している。

【評価しやすい目標設定】

平均工賃支給額の目標設定を明確に示していることで、達成までの具体的な行動計画が策定しやすい。また、利用者も目標達成することでモチベーションが上がるため、まさに、理念の「人生は、楽しい」を具現化したものとなっている。

【マネジメントしやすい仕組み作り】

法人内ネットワークシステムを駆使して、事業運営のPDCAサイクルが回っている。このシステム上に様々な情報が網羅されているため、情報管理の側面からも効果的ということができる。

【丁寧な事業所紹介】

新しく利用を希望する方が見学等を希望した場合、実際の就労をイメージしやすいように、写真を多く使ったパンフレットの作成や、既存の利用者が実際に就労している動画を見てもらうようにしている。新規利用者の不安な心理状況に配慮した、懇切丁寧な対応といえる。

【利用者家族との信頼関係の構築】

利用者へのサービスが開始して、定期的に開催しているモニタリング会議の際、できるだけ家族にも参加を促している。この際に利用者が一生懸命働いている様子を動画等で見てもらい、丁寧に状況を説明するようにしている。このような積み重ねから家族との信頼関係が生まれ、利用者支援にあたって連携が図りやすい。

◇改善を求める点

【地域との交流・地域貢献】

今後、より一層、厚みを増すという観点から、地域との関わり方に関する基本的な考え方として、「地域での安心を支える仕組み」や、「地域に元気を」という文言を基にして、口頭で詳細に意図等を確認することができたが、地域との関わり方や、地域と利用者をどのように繋いでいくのか等、法人としての考え方をもう一步踏み込まれ、より具体的に文章化されることを期待したい。

⑥第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、初めて福祉サービス第三者評価を受けさせて頂きました。事業所が提供している福祉サービスの質について、専門的・客観的立場から見ていただく中で、より事業所の現状を把握し良い点と改善点を明確にすることができました。

講評において、特に評価の高い点については、日常支援の自信となりましたので今後さらに推進していきます。また、改善が必要な点については、全職員が問題意識を共有し取り組むことで、福祉サービスの質の向上に努めて行きます。

⑦第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

⑧利用者調査及び書面調査の概要

(別紙)